

射撃協会

昭和 50 年(1975 年)創立

【あゆみ】

神奈川県都市対抗射撃大会が開始されたのが昭和 42 年（1967 年）10 月 10 日体育の日で、昭和 50 年（1975 年）度より県内郡市対抗射撃大会になり、各市射撃協会の体育協会への所属が定められ、未加入の射撃団体の加盟参加したのが現在の各郡市の射撃協会であります。その後、郡市対抗射撃大会は、昭和 61 年より神奈川県総合体育大会クレー競技となり、現在も続いています。

茅ヶ崎市も昭和 47 年の第 6 回大会に他市に遅れながらもトラップ部門に 5 名が初出場し、茅ヶ崎の面目を果たしたのが当協会の原点であると思います。この大会では参加 14 チーム中最下位でしたが、今となっては過去が一番の思い出となりました。

その後、昭和 48（1973）・49（1974）年と出場し、昭和 50 年（1975 年）度大会は茅ヶ崎が当番市との旨の発表がありました。当時は正式な組織団体でなかったため、昭和 49 年（1974 年）12 月に、都市対抗射撃大会に出場した選手が中心となり、市体育課（現スポーツ課）と協議の上、市内銃愛好者に集合を願い、多数の賛同を得て、昭和 50 年（1975 年）4 月に正式に発足、茅ヶ崎市体育協会に加盟し、昭和 50 年（1975 年）度の郡市対抗射撃大会の当番市として無事に大役を果たすことができました。こ

れは、市体育課の方々及び茅ヶ崎市体育協会の並々ならぬ御協力、御指導によるもの、また選手・会員の努力と茅ヶ崎射撃協会の発展への意思表示でもあったと回想いたします。

昭和 50 年（1975 年）に当協会の発足とともに、茅ヶ崎市総合体育大会の一種目競技会としてクレー射撃の部、ライフル射撃の部を開始しました。

当時郡市対抗大会に連続出場した選手と発会の基礎となられたシューター（射撃者）各氏に、あらためて謝意を申し上げます。なお、すでに他界され、現在の当協会の発展と茅ヶ崎市民スポーツの進歩発展を見守ってくださった亡き選手のために、心よりご冥福をお祈りします。

【射撃を取り巻く環境】

射撃競技には、クレー射撃（トラップ競技・スキート競技）、ランニングボア、ライフル射撃（大口徑・スモールボア・エアピストル）等に分類されますが、当協会の主流は、クレー射撃とライフル射撃であります。原点は狩猟目的であったものがスポーツ競技に発展したもので、今後益々高度発展する競技かと思われていましたが、射撃競技を取り巻く環境の変化により、発展・普及に苦慮しているのが実情です。たとえば、銃器による事件が発生する度に銃

砲所持規制が厳しくなっています。また、我々のホーム射撃場である県立伊勢原射撃場の鉛弾汚染保護による改修工事が遅れているため手短に練習できる場を失い、遠方の射撃場へ行かなくてはならなくなりました。さらに、経済成長が鈍化し、若い人たちの趣味・嗜好が多彩になっていくなかで、射撃競技人口が減少傾向にあります。

さて、茅ヶ崎市にも銃器所持者が多く在住されて、それぞれ狩猟に、射撃にと単独あるいはグループで愛好されていることと思いますが、他のスポーツと違う点があります。

まず、銃器の所持について許可が必要であり、国家試験に合格し、実技・適正調査後にはじめて所持できるもので、火薬の使用許可等、制限があるので安易に一般人ができるスポーツではないのが特異性かと思えます。テレビ・新聞等でご存じのように犯罪の凶器としても常に恐怖と背中合わせであることも事実です。

社会不安にならぬよう我々銃愛好者は、健全且つ安全な所持管理、使用が義務であり、健康で健全なスポーツシューターであることを祈念するものであります。

【協会の活動・展望】

当協会の現在の会員数は 39 名。

昭和 50 年（1975 年）の発足以来、郡市対抗大会、後の県民総合体育大会、並びに当協会主催と協賛大会を毎年欠かさず参加、開催しております。また、昭和 51 年（1976 年）より始め、平成 21 年（2009 年）で 34 回を数える茅ヶ崎市・鎌倉市・藤沢市による湘南三市親善対抗射撃大会も、継続実施しております。

神奈川県総合体育大会には前身の都市対抗・郡市対抗大会時代から昭和 47 年をスタートに毎年参加しておりますが、平成 14 年（2002 年）度の第 53 回大会では、スキート競技で渡邊和利選手が個人の部で見事に優勝、神奈川県のチャンピオンに輝くという快挙を成し遂げました。

今後、県立伊勢原射撃場の改修工事を早く完成していただき、当協会の主力メンバーに続く若いシューターの指導と育成を進め、将来は国体に参加できるようなシューターを育てていきたいと思っております。



（クレー射撃・スキート競技）